

(1) 特別支援学校のセンター的機能充実事業

団体名	宮城県教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業開始前の現状と課題

特別支援学校のセンター的機能の強化が求められ、地域からの支援要請が多くなっている。本事業の指定校は知的障害の特別支援学校であるが、障害種に関わらず様々な地域の要請に応えるための教職員の専門性の向上が求められる。外部へ派遣できる十分な専門家の確保を含め、そのための体制整備が課題となっていた。

現在、特別支援学校ではタブレット端末を活用した学習も進められている。地域の小・中学校も活用を検討していることから、特別支援学校で活用されているタブレット端末を含めた教育的資源の活用の有効性について検証が必要である。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

校内外の教員を対象とした研修会については、発達障害への対応をはじめとした様々な研修会を開催し、教員の資質と専門性の向上に努めた。特に、タブレット端末の活用と臨床心理士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士などの外部専門家の活用に関しては、研修を踏まえ、校内での指導実践を重ねながら、指導実践例をまとめた。

また、特別支援学校のセンター的機能の充実のために、県内の特別支援学校間での会議を通して連携を強化し、地域からの相談に適切に対応できるよう、支援の方策や課題について意見や情報の交換に努めた。

3. 解決策（次年度の取組等）

特別支援学校のセンター的機能強化のための更なる専門性の向上のためには、地域が求める支援内容を把握・整理し、研修内容を精選していく必要がある。特に、タブレット端末については、研修を重ね、技術の向上に努める必要がある。

また、外部からの要請に十分に対応していくためには、外部専門家を定期的に派遣できるような支援体制を構築していくことが課題である。

今後は、地域との連携の強化のために、特別支援学校からの情報の発信だけにとどまらず、地域からの情報も集約していくための工夫も必要である。

【推進地域及び指定校一覧】

推進地域	指定校	
石巻市	1	宮城県立石巻支援学校